

2 年間のステロイド使用後に治療を継続した小児アトピーの経過 (8 歳 女児)

症例 ID：001-08-MN3 | 記録日：2016 年 7 月 16 日

1. 診断・治療前経過

顔に湿疹ができ、近医の皮膚科や大きな病院でアトピーと診断され、約 2 年間通院しました。主にステロイド外用薬と内服薬を処方されました。

症状が良くなっても再び痒みが出て、掻破と外用を繰り返し、次第に強めのステロイドを処方される状態でした。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド外用薬と内服薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	強めのステロイド処方へ移行した経過があります。
使用期間	約 2 年間です。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
治療前	発症	顔に湿疹が出ました。
約 2 年間	外用治療	大きな病院でステロイド外用薬と内服薬を使用しました。
治療中	反復経過	良くなっても再び痒み、掻破、外用を繰り返しました。
松本医院受診後	治療開始	漢方の外用、内服、漢方風呂を開始しました。
治療初期	リバウンド	掻きむしりと夜間不眠が続きました。
経過中	変化	良い時期と乾燥によるかゆみが強い時期を繰り返しながら治療を継続しました。
記録時点	継続中	本人も自分で薬を塗り、飲み薬を続けていました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始初期にリバウンドで掻きむしり、夜眠れない日が続いた時期です。

5. 困りごと

- 夜中に眠れない日が続きました。
- 周囲から薬や病院について指摘され、家族に心理的負担がありました。
- 漢方風呂を嫌がり、入浴処置が大変でした。

6. 経過のまとめ

治療中は良い時期と乾燥などで痒みが強い時期を繰り返しながらも、開始時より少しずつ改善していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。